学校番号	3031

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)発展国語Ⅱ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「論理国語」（筑摩書房） 「文学国語」（筑摩書房） 「トータルサポート新国語便覧」（大修館書店） 「読解評論文キーワード」改訂版（筑摩書房） 「改訂版プログレス〈読解・論点・研究〉現代文総演習・完成編　改訂」（いいずな書店） 「過程の演習　新国語問題集　現代文編　第５６集」（啓隆社）（文科のみ）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語学習において身につけるべきは、「聞く」・「読む」・「話す」・「書く」という４つの「言葉の力」です。この４つの力を駆使することで、自分や他者に固有の「想い・考え」を一般化して、理解・伝達ができるようになります。このような「言葉の力」を身に付けて、高めていくことが、３年次における国語学習の目標です。
・「発展国語Ⅱ」においては、文章の読解・記述やプレゼンテーションを通じて、上記の「言葉の力」を養います。学習内容の深化拡充に加えて、２年次よりも学習内容は難解・複雑になり、取り扱う文章や題材の抽象度はさらに上がります。そのような難解な文章に取り組むためには、知識だけではなく教養も必須となることを意識して本格的な勉強に取り組んで下さい。
・「発展国語Ⅱ」においては、２年次と同様、評論や文学という文章ジャンルの区別無く近代以降の文章全般を取り扱います。文章ジャンルごとの特性を踏まえると同時に、そのジャンルの差異を横断するようなダイナミックな学習に取り組んで下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯に渡る社会生活を通じて、自己理解や他者との関係を構築するのに必要な知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考え、豊かに想像する力、物事を批判的に捉え、深く共感する力、互いの考えを伝え合う力を伸ばし、自己と他者とが協同する社会の中での位置取りや振舞い方を実践することができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉の技能的側面に加え価値的側面を認識し、日常生活や専門的な場においてどのような言葉が用いられているのかを意識化するために、生涯を通じて言語活動全般に取り組んで、その発展に貢献しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・言葉が思考や認識に果たす役割や漢字・語彙・修辞などについて、理解している。 文章の構造や論理について理解している。	・「聞くこと」「読むこと」「話すこと」・「書くこと」のすべてに関して、論理的に考える力、豊かに想像する力、的確に表現したり理解したりする力を伸ばしている。	・a「知識・技能」およびb「思考・判断・表現」の内容に即し、主体的に学習に向き合っている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
通年	話す/聞く ［教材］ プレゼンテーション	a:話し言葉の特徴を理解し、的確な表現を用いている。 b:[話/聞]:話し手は聞き手に考えを伝えるための工夫している。聞き手は関心を持ちながら発表を聞いている。 c:a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	発表	発表 コメント	発表 コメント
前期	読むⅠ ［教材］ 説明的文章 文学的文章	a:言葉や文構造が認識や思考に与える働きを理解している。 b:[読]:文章ごとの特性を踏まえた上で、文章展開を的確に捉えて内容を理解し、自分なりの考えを深めている。 c:a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	成果物
	書くⅠ ［教材］ 説明的文章 文学的文章 実用的文章	a:論理構成や表現技法について理解している。 b:[書]:文章や資料等をもとに考えたことについて、自分の主張や思いが的確に伝わるように、論理構成や表現技法に注意しながら書いている。 c:a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	成果物
後期	読むⅡ ［教材］ 説明的文章 文学的文章	a:言葉や文構造が認識や思考に与える働きを理解している。 b:[読]:文章ごとの特性を踏まえた上で、文章展開を的確に捉えて内容を理解し、自分なりの考えを深めている。 c:a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	成果物
	書くⅡ	a:論理構成や表現技法について理解している。	定期考査	定期考査	成果物

	［教材］ 説明的文章 文学的文章 実用的文章	b:[書]:文章や資料等をもとに考えたことについて、自分の主張や思いが的確に伝わるように、論理構成や表現技法に注意しながら書いている。 c:a,b の内容に即し、主体的に学習に取り組んでいる。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　【６５　）時間